

## ⑥ 6年生 | “Let's enjoy communication”

### 移動教室で外国人にインタビューしてみよう！

新学習指導要領が告示され、いよいよ本格的に外国語活動に取り組むこととなります。年間指導計画や週ごとの授業案を考えるのはひと苦労です。業者まかせ、ALTまかせになってしまうことも多いかもしれません。買い物ゲームや挨拶ゲーム、ビンゴゲームが繰り返され、高学年の子どもたちがその授業に乗ってこないこともあるかもしれません。

#### 1. 子どもたちの目線から計画を見直す

良い授業は外国語活動も他の授業も、芯は一緒です。どの教科・領域でも、学校で行う学習活動ですから教えなければならないことはあります。教えなければならないことをただ教え込むだけでなく、授業をする時は、「おっ！これはおもしろそうだな」「これは知りたい！調べてみたい！」と子どもたちが思うような学習活動を用意するはずです。

そこで、次の3つの視点から外国語活動を見直してみました。

- ①子どもに必要感が生まれる活動になっているか
- ②知的好奇心をくすぐる活動になっているか
- ③自分の成長が感じられる計画になっているか

そして思いついたのが、移動教室でのインタビューです。高学年になると、移動教室で有名観光地に行く場合があると思います。そういった場所には外国からの観光客も多いので、その方たちと直接触れ合ったり、コミュニケーションを図ったりするチャンスです。

#### 2. 移動教室先で出会った外国の方とコミュニケーションをとってみよう！

【単元の流れ】

- ①ALTと仲良くなろう
  - ・挨拶の仕方、会話の弾ませ方

#### ②たくさん聞き出してみよう

- ・相手の国のこと、好きなものなど
- ・聞き方と答え方など

#### ③コミュニケーションをとってみよう

- ・ALTや保護者、教師、友達同士でシミュレーションする。

#### ④移動教室先で実際の活動

#### ⑤活動を振り返ろう

- ・この活動で得たことを友達と伝え合う。場合によっては出会った外国の方へお礼の手紙を書く。

#### 3. 現地での実際の様子

当日は、今まで学んだことを結集しての活動です。子どもたちは挨拶をして出身国を聞くだけでなく、「この観光地で何を見たいか」「この観光地で何が一番心に残ったか」ということを聞いていました。難しい言い回しは、事前にALTに教えてもらっていました。別れ際に、お礼の折り鶴を渡したり、住所を覚えてもらったりしていました。活動の振り返りを行うと、「多くの方たちが優しく接してくれたこと」「目を見て、丁寧に話してくれたこと」を嬉しそうに伝え合っていました。コミュニケーションの中で一番大切にしなければならないことは、本物のコミュニケーションの中で身につくようです。

